

俺の名前は青木清。探偵だ。

8月。風鈴、打ち水、蝉しぐれ。  
中元で届いたビールを飲んでいると  
一本の調査依頼の電話が入った。



スナックなみのりの外観

「なみのりという店を調べてほしい。」

そう言えば、まともな調査は1年ぶりだ。1年前、ある店の調査をしたのだが、大人の事情で中断した。その件については、どこかの居酒屋で会ったときにでもゆっくり語ろう。

夜8時過ぎ、事務所のたろはなを出て。熱帯夜の久地を歩く。俺は調査対象へ向かった。調査対象が入居しているのはビルの2階。見上げれば、桃色の看板に「なみのり」の文字が灯っている。間違いない、この店だ。俺は足早に階段を昇った。扉の前に立つと、スナック独特の雰囲気外でも伝わってくる。きっとカラオケで盛り上がっているのだろう。俺は扉を開け、店内に入った。

「いらっしゃいませ」という女性達4,5人の声が俺を迎えてくれた。店内はカウンターが7席程度、そして4つ~5つのテーブルが設置されていた。俺の予想通り店は活気に溢れ、女性との会話を楽しむ者、カラオケを楽しむ者で賑わっている。客が唄うカラオケは昭和歌謡だろうか？曲名は知らないが優しい曲だ。カウンターに案内され俺は腰を掛ける。俺は「瓶ビール」をオーダーした。

ビールを一口飲み、ママらしき女性と会話を楽しむ。聞けば店名の由来はママの名が“なみ”、一緒に働いている妹の名が“のりこ”、2人あわせて“なみのり”だ。いなせな姉妹だ。煙草をくわえると、ママがそっと火を点けてくれた。ちょっとした気配りを楽しむのもまた、スナックの醍醐味だ。

ひと段落し俺は店を出ることとした。するとママは店外まで見送ってくれ「また来てね」と微笑んだ。

俺は、再び夏夜の久地を歩く。  
ふと街灯に目をやると寂しげに蝉が鳴いた。

## ■スナック なみのり

営業 : 20:00~

定休日: なし

住所 : 神奈川県川崎市多摩区堀3-11-16 MKビル2階

電話 : 044-811-8661